

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第2回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）自主的審議事項について

・その他（公開）

3 開催日時

令和5年5月25日（木）午後6時30分から午後8時10分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 2階 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐郁代、五十嵐公子、金澤信夫、君波豊、佐藤忠治（会長）、新保輝松、
関清、土屋郁夫、濁川清夏、俵木一松、俵木晴之（副会長）、細井雅明
（13名中12名出席）

・事務局：大潟区総合事務所 熊木所長、小池次長（総務・地域振興グループ長兼務）、
布施教育・文化グループ長、平野市民生活・福祉グループ長、風間班長、
水澤主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【小池次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【佐藤忠治会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：細井雅明委員に依頼

【佐藤忠治会長】

協議事項（１）自主的審議事項についての協議を行う。事務局から説明を願う。

【風間班長】

資料No.1、2により説明。

【佐藤忠治会長】

君波委員から質問が提出されているので、質問内容を説明してもらい、その後、委員もしくは事務局から答えられる範囲で回答いただきたい。

【君波豊委員】

資料No.2により説明。

【佐藤忠治会長】

君波委員からの質問に対して順番に回答をお願いします。一つ目の質問については、提案者である私が答える。以前、柿崎区と大潟区の地域協議会委員、町内会長、市議会議員で構成された「柿崎・大潟の海岸をよみがえらせる会」があり、決壊した海岸の定点観測をして現状を記録していた。また、下越地方で海岸浸食の工事を行っているところへの視察、市長へ意見書の提出などの活動を行っていた。私も参加していたが数年前に解散した。今は上越海岸協議会という団体がある。海岸近くにキャンプ場があるが、海岸には消波ブロックが高く積んであり、キャンプに来た人は海水浴や魚釣りができないため魅力が半減してしまっている。鵜の浜海岸や九戸浜の船着き場は、沖合に消波ブロックを置いてあり砂が付いている。キャンプ場があるのだから、鵜の浜海岸や九戸浜の船着き場のように、沖合に消波ブロックを置いて砂浜を蘇らせるように意見書を提出したらどうかと思い提案した。君波委員は「柿崎区に呼びかけ、地域協議会レベルで対策団体を作れないか。」と言っているが、柿崎区の浸食状況がまったくわからない。会長会議等があれば、どのような実態か、現状把握をどのようにしているかなどを確認したい。

【君波豊委員】

大潟区だけで市長に意見書を提出しても実現しないと思う。九戸浜の排水場のところが酷くて工事中である。柿崎区のマリンホテルの下は海がすぐそこまできている。視察に来た県の担当者は、「これから予算を検討する。」という返事ばかりでなかなか具現化

しない。やはり大きな組織でやらないと駄目である。柿崎区、大潟区でそういった団体を作り、上越海岸協議会に入れてもらうのも方策である。離岸堤を造れば多少は砂が付くと思うので、会長が言われていることは分かるがなかなか難しい。団体を作り、上越海岸協議会と一緒に行動して、実態を訴えていく方が早いと思う。

【関清委員】

上越海岸協議会という名前が出ているが、どのような団体なのか。

【君波豊委員】

海岸に面している町内会長がすべて加入している。町内会長は、その場で実情を説明している。例えば犀潟町内会長は「犀潟の海岸は離岸堤が沈降し始めているので嵩上げしてほしい。」とお願いしたが、「経過観察しながら、今後検討させていただく。」という返答であった。県全体のことでありなかなか実行されない。そのため、先んじて訴えていかないと予算化には結びつかない。

【小池次長】

補足する。柿崎、大潟だけではなく、谷浜、五智、八千浦、名立の町内会長が加入している。協議会の顧問として中川市長や市議会議員が入っている。この協議会の中にはサポーターという方がおり、そこに君波委員他、大潟区の方も何人か入っている。君波委員の質問の中に「柿崎・大潟の海岸をよみがえらせる会」について記載がされていた。この会は、平成27年に解散して上越市海岸協議会に合流したという経過がある。一定の役割を果たしたということで発展的に解散して、今後は上越市海岸協議会の中で意見を一つにまとめて県や国に要望していくこととなった。「柿崎・大潟の海岸をよみがえらせる会」の構成員は町内会長が主であり、上越市海岸協議会とメンバーが重なっていた。

【佐藤忠治会長】

次の質問について、布施G長から回答をお願いします。

【布施G長】

令和2年度に公の施設の適正配置計画が示され、その中で、アスレチックを含む大潟野外活動施設については、令和6年度末までに「利用実態を踏まえ、地域団体へ貸付又は譲渡する」とされている。このことを踏まえ、市ではこれまで大潟観光協会に対し検討材料として、例えば施設ごとの経費や面積など野外活動施設の資産に関する様々な情報を提供してきた。現在、観光協会としての正式な意向は示されていないが、市からの

情報提供を受けて、市から貸付若しくは譲渡を受けるのか、受けるとすればどの資産とするのか、収入はどの程度見込めるのか、維持管理経費を含め観光協会として経営していけるのかなどを引き続き検討されているものと承知している。

【佐藤忠治会長】

次に細井委員から回答をお願いします。

【細井雅明委員】

以前の文化協会については私には分からない。解散するとき、文化協会とまちづくり大潟の会長等が話し合った。私に言わせると、まちづくり大潟へ押し付けられた感じである。まちづくり大潟は本来そういった活動をしていないが、まちづくり大潟くらいしか受けられないということで私が担当して発表の場の提供のみをやってきた。区内の団体のほかにゲストに出演してもらってきたが、出演団体は「出演してやる。」という感覚であり、まちづくり大潟としてやりがいがない状態できている。ここ数年、まちづくり大潟がこのような発表会をやるべきか協議しようとしていたが、新型コロナウイルスの影響で開催中止が続いている。このテーマを提案したのは、大潟かっぱ祭りに関わるようになり、発表の場を提供しようとしても団体の情報が少ないためである。積極的に活動している団体もあれば、高齢化が進んでいる団体もある。団体の把握、助成や育成を担う団体が必要である。まちづくり大潟は今の体制では難しい。今は、まちづくり大潟の一つの部会で担当しているが、参加はしても核となってやっていきたいと思っていないため提案した。

【佐藤忠治会長】

最後の質問は、事務局から回答を願う。

【風間班長】

地域活性化の方向性は、市や地域協議会とで目指すべきところの共有を図るなど、市の企画の参考にするものである。「担当課に提出するだけでよいのか。」との質問だが、そうではなく地域活性化の方向性をどのように活かしていくかを皆さんと協議していければいいと考えている。地域活性化の方向性の項目が、自主的審議事項で議論する内容というわけではないので、そこにとらわれなくてもいい。もちろん、自主的審議事項として取り上げても問題はない。今回、各委員から提案されたテーマは、大潟区の地域活性化の方向性に関連のあるところが多い。提案の中から絞って決めていただき、その自

自主的審議事項を深めていく中で地域活性化の方向性の具体化、肉付けに結び付くと思う。

【君波豊委員】

地域活性化の方向性とした五つの構成要素は、急いで協議する必要はないということか。大潟区での地域活性化の方向性を担当課に報告すると思うし、各区からも報告されると思う。それを数年そのままにしておいて、後から表に出た時に「地域協議会で勝手にそんなことを決めているのか。」といった話にもなりかねない。やはり、肉付けをして早い時期に住民に示していく必要があると思う。我々は、常に地域活性化の方向性を頭に置いて自主的審議事項を協議して、肉付けしながら皆さんに示して、その方向に進んでいくということでないかと思い質問した。もう一つ気がかりだったのは、第1回大潟区地域協議会資料No.2の中に「重視したい、大切にしたいものが何であるか分かりづらい。構成要素とするのであれば、具体的なものに表現することも一案ではないか。」という意見があった。お題目だけで肉付けされていないと言っていると思い質問した。自主的審議事項のテーマを新たに選んでもいいし、この中から選んでもいいと思う。

【佐藤忠治会長】

自主的審議事項は市のホームページに掲載される。

【君波豊委員】

そこである。それを見た住民から「我々が何も知らないうちに地域協議会はそういったことをやるのか。」という話になったら困る。

【佐藤忠治会長】

地域協議会だよりを通じて周知をしていきたい。

【君波豊委員】

そのときに必要なことは、「これから肉付けして具体的な事例を示しながら一緒に活動していきます。」ということを書き添えておくことだ。柿崎区はやろうとしていることを細かく挙げている。

【佐藤忠治会長】

自主的審議事項のテーマをいくつにするか。また、どのように決めるか。前回の地域協議会で新保委員から「あまり時間を掛けていると混乱してしまう。早めに煮詰めてテーマを決めて審議に移らないと駄目である。」という意見もあった。

【五十嵐郁代委員】

新保委員の意見に賛成である。皆さんの意見を見てみると、我々が協議しても解決まで程遠く、テーマに対して時間を費やすのはどうなのかと思う。我々が議論して形になるような中身をテーマにした方がいいと思う。

【細井雅明委員】

テーマの数をいくつにするかを定めるより、自主的審議事項にふさわしい内容かどうか選別する方が優先であると思う。テーマの内容によって、どのように取り組んでいくかと考えるのが普通であると思う。

【佐藤忠治会長】

自分のテーマが一番いいと思い提案していただいていると思うが、他の委員の意見を見て自分の意見よりそちらのテーマがいいと感じることもある。期間も一年もない中で協議していくので一つのテーマに絞りたい。一人につき、いいと思うテーマを二つ挙げて投票していただき決定したいと思うがいかがか。

(一同了承)

では、用紙を配付するので番号で記入していただきたい。

～投票及び開票～

【佐藤忠治会長】

開票の結果、5票が入った「8大潟野外活動施設アスレチック場の今後の活用について」をテーマとしたい。③-1もアスレチック場がテーマであり、そちらにも2票入っていたので皆さんの関心が一番高いと思う。先程の話では、観光協会としては結論が出ていないようである。今、遊具は使っていないと思う。

【俵木晴之副会長】

遊具は使っている。私は観光協会の理事をやっているが、先ほどの布施G長から話があったところまでしか聞いていない。

【佐藤忠治会長】

「大潟野外活動施設アスレチック場の今後の活用について」を自主的審議事項のテーマとして決定していいか。

(一同了承)

事務局を通じて担当課へ報告してもらおう。

協議事項を終了する。その他に入る。(仮称)人魚館サポーターズクラブ準備会からの報告について五十嵐郁代委員から説明願う。

【五十嵐郁代委員】

準備を重ねてきて5月27日に設立総会を開催する運びとなった。準備会で呼びかけをしたところ、地域協議会の有志も含めて26人の方から会員登録をしていただいた。その方たちと一緒にどんな活動をしていけばいいか話し合いながら進めていきたいと思っている。具体的な事業計画や体制については会員登録者と一緒になって考えていくため、27日は設立総会とはいっても現在の役員体制と規約、今後の進め方を示しご了解、ご協力を仰ぐ会にしたいと思っている。来賓については、ネクストリゾート上越社長をはじめ、大潟区総合事務所長、商工会長、観光協会長、鵜の浜温泉観光組合長、大潟区町内会長協議会長、まちづくり大潟会長、九戸浜町内会長、大潟区地域協議会長から参加いただく予定となっている。自主的審議事項で協議してきた内容がようやく形になってきた。人魚館の手が足りない部分をサポートして、地域の宝として多くの人に利用していただくことが大事となってくる。立ち上がったとは言え、まだまだ安心はできない。まだまだサポーターの登録者数も足りていない。委員の皆さんからも是非とも登録いただき、いろいろな面で助けていただきたいと思う。差し当たり海水浴シーズンに向けて草刈りや花の植付け等を予定している。

【細井雅明委員】

可能な範囲での参加となるが、登録させていただく。

【佐藤忠治会長】

ありがたい。既存の応援隊は「新酒を楽しむ会」をはじめとする宴会へのお誘いをして協力している。サポーターズクラブは、環境整備や情報発信などの協力をしていくので、また違ったやりがいがあると思う。次に総合事務所から連絡事項等はあるか。

【風間班長】

地域独自の予算についてお伝えしたい。地域独自の予算の概要(抜粋版)を全戸配布した。皆さんのお宅にも届くころである。A3でカラー刷りの地域独自の予算の概要については、コミュニティプラザや地区公民館に配置してある。地域独自の予算に提案したいなどのご相談には、こちらを使って説明していく。また、ホームページにも掲載されている。地域独自の予算の提出期限は8月末までとなっている。もし、「こういったこ

とをやりたい。」などの声があれば些細なことでも相談に来ていただきたい。

【佐藤忠治会長】

概要の中の1取り組みを提案できる方として「地域の団体」があるが、2人以上の構成員となっている。今までは5人以上の構成員ではなかったか。

【風間班長】

「2人以上の構成員」となり、提案がしやすくなった。

【佐藤忠治会長】

次に君波委員から提案がある。

【君波豊委員】

5月13日に議会報告会があった。今回は議員と参加者が同じテーブルについて意見交換をした。その帰りに大潟区の子田議員と一緒に、「こういった意見交換会はとてもいい。大潟区でも実施しましょう。」と話をしたところ、「やりますか。」と言っていた。その後、その話が山田議員から事務局に届いたらしい。大潟区の子田議員と大潟区地域協議会で意見交換会を実施したらどうか。

【佐藤忠治会長】

皆さん、いかがか。

【細井雅明委員】

目的はなにか。

【君波豊委員】

特に目的はないが、せつかく議員活動をされているのだから、地域協議会の生の声を聞いていただいてもいいのではないかと考えた。

【佐藤忠治会長】

議員の意見もたまには聞いてみたい。実施する方向で検討したいと思うがいかがか。

(賛成多数)

参加は自由にしたい。では、実施する方向で進めたい。

他に委員から連絡事項等はあるか。

【濁川清夏委員】

自主的審議事項のテーマが決まったが、現地の視察や観光協会から話を聞かせてもらってから協議に入ったほうがいいのではないか。

【佐藤忠治会長】

検討したいと思う。他にあるか。

【君波豊委員】

令和2年度に「頸北の池沼群の自然環境保全地域の指定について」の説明を受けたが、第7次総合計画を見ていたら、令和3年3月に朝日池等が指定されていた。朝日池に看板等は設置されたのか。大潟区にとっては、まちづくりのいいソースになるので何か表示がされたかと思い聞いた。現地を見てきたいと思う。

【佐藤忠治会長】

他に連絡等がなければ次回の協議会の日程案について事務局から説明願う。

【小池次長】

第3回地域協議会を6月22日木曜日午後6時30分から開催する。

【俵木晴之副会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111（内線201、216）

E-mail：ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。